

我が国の道路整備の状況（その2）

まえがき

我が国の公共投資の中で道路投資は、予算的に一番大きく、経済産業や生活基盤を支えるものとして、特定財源のもとに積極的な道路整備が進められてきた。しかし近年において、国及び地方公共団体の財政逼迫により公共投資の見直しが行われ、道路投資も厳しい状況にあるが、道路統計調査（平成14年4月1日現在）によれば、

道路整備は着実に進み、道路状況は年々改善されていることが分かる。今回はその状況について紹介する。

1. 道路投資

表一に道路投資の推移を示すが、全体の公共投資の落ち込みに比較すると少ない。

建設的経費は道路改良、橋梁整備、舗装新設、調査及び公団関係の建設費、受託業務費、付帯事業施設費、街路分担金、調査費である。

維持的経費は舗装修繕、橋梁補修等の修繕並びに維持費及び公団関係の維持改良費である。

建設的経費が漸減傾向が大きいが、維持的経費の落ち込みが少ないことは、今後道路の維持保全に年間3兆円近くが維持費として必要な事を示していると考えられる。

2. 道路の現況

平成14年4月1日現在における道路の整備状況を対前年を括弧書きし要約したものを表二に示す。

一般道路（高速自動車国道を除く）の実延長は、1,170,363 kmで前年度より5,567 kmの増となっている。

表一 道路投資の推移（決算額）（単位：百万円）

年度	建設的経費	維持的経費	合計	災害復旧費
昭和43	1,006,903	173,231	1,180,134	21,020
53	4,096,934	863,320	4,960,254	64,476
63	7,306,810	1,530,712	8,837,522	107,294
平成元	8,017,025	1,704,640	9,703,948	121,628
2	8,560,620	1,945,548	10,506,168	149,922
3	9,179,448	2,015,515	11,194,963	171,115
4	10,683,666	2,339,022	13,022,688	122,838
5	11,463,043	2,482,627	13,945,670	170,877
6	10,629,422	2,565,470	13,194,892	159,790
7	11,169,998	2,794,718	13,964,716	291,401
8	10,973,082	2,820,582	13,793,664	197,041
9	11,005,094	2,651,328	13,656,422	113,773
10	11,012,621	2,788,146	13,800,767	143,553
11	10,508,546	2,720,088	13,228,634	172,576
12	10,017,372	2,715,463	12,732,835	126,292
13	9,366,211	2,603,034	11,969,245	124,426

表二 道路の現況（平成14年4月1日現在、（ ）は平成13年4月1日現在）

道路種別	実延長				整備		舗装			
	計	現道	旧道	新道	整備率(%)	整備済み延長(km)	舗装率(%)	舗装済み延長(km)	簡易舗装を含む舗装率(%)	簡易舗装を含む舗装済み延長(km)
高速自動車国道計	(6,851.2) 6,914.8	(6,851.2) 6,914.8	— —	— —	— —	— —	(100) 100	(6,851.2) 6,914.8	— —	— —
一般国道(指定区間)	(21,827.7) 21,897.0	(20,757.9) 20,820.1	(199.6) 204.3	(870.3) 872.7	(49.8) 50.1	(10,869.7) 10,973.7	(98.3) 99.3	(21,447.2) 21,524.5	(100) 100	(21,816.9) 21,889.8
一般国道(指定区間外)	(32,038.0) 31,968.8	(29,942.7) 29,881.5	(1,232.4) 1,215.0	(862.9) 872.3	(59.8) 59.8	(19,151.8) 10,120.9	(82.9) 83.3	(26,545.4) 26,643.6	(98.3) 98.4	(31,486.5) 31,460.7
一般国道計	(53,865.8) 53,865.8	(50,700.6) 50,701.6	(1,432.0) 1,419.2	(1,733.2) 1,744.9	(55.7) 55.9	(30,021.5) 30,094.6	(89.1) 89.4	(47,882.6) 48,168.1	(99.0) 99.0	(53,303.4) 53,350.5
主要地方道(含む主要市道)	(57,573.5) 57,584.8	(55,423.5) 55,376.4	(1,231.3) 1,235.6	(918.7) 972.7	(55.4) 55.9	(31,914.0) 32,202.5	(67.3) 68.1	(38,736.6) 39,238.2	(96.8) 97	(55,734.1) 55,837.9
一般都道府県道	(70,835.0) 70,969.2	(69,647.0) 69,718.2	(745.4) 761.9	(442.6) 489.2	(48.8) 49.3	(34,585.9) 34,969.1	(48.3) 49.0	(34,190.8) 34,802.4	(93.2) 93.5	(66,031.6) 66,389.1
市町村道	(982,521.4) 987,943.1	(982,521.4) 987,943.1	— —	— —	(52.0) 52.8	(511,203.4) 521,453.3	(16.9) 17.3	(166,365.5) 170,837.7	(73.4) 79.1	(721,331.9) 731,878.1
一般道路計	(1,164,795.7) 1,170,362.9	(1,158,292.5) 1,163,739.3	(3,408.7) 3,416.8	(3,094.6) 3,206.9	(52.2) 52.9	(607,724.7) 618,719.2	(24.7) 25.0	(287,285.6) 293,046.4	(77.0) 77.5	(896,401.0) 907,455.7
合計	(1,171,646.9) 1,177,277.7	(1,165,143.7) 1,170,654.1	(3,408.7) 3,416.8	(3,094.6) 3,206.9	— —	— —	— 25.5	— 299,961.2	— 77.7	— 914,370.5

統 計

(1) 高速自動車道

高速自動車道は全国的な自動車交通網の枢要部分を構成しかつ、政治・経済・文化上特に重要な地域を連絡する道路として位置付けられており、供用延長は64路線、6,915 kmで前年比64 kmの増となっている。

(2) 一般国道

一般国道は高速自動車国道とあわせて全国的な幹線道路網を構成する道路で平成14年4月1日現在で供用延長は457路線、53,866 kmとなっている。整備状況は整備率55.9%（前年度55.7%）、舗装率（簡易舗装は除く）は89.4%（前年度89.1%）となっている。

(3) 主要地方道

道路実延長は57,585 kmで整備率55.9%（前年度51.8%）、舗装率（簡易舗装は除く）は68.1%（前年度67.3%）となっている。

(4) 一般都道府県道

道路実延長は70,969 kmで整備率49.3%（前年度48.8%）、舗

装率（簡易舗装は除く）49.0%（前年度48.3%）となっている。

(5) 市町村道

道路実延長は987,943 kmで前年度より5,422 km増加し、整備状況は改良率52.8%（前年度52.0%）、舗装率（簡易舗装を除く）17.3%（前年度16.9%）と低い状況になっている。

3. 交通安全施設の現況

交通安全施設の整備は交通事故の減少の他ボトルネックの解消等円滑な交通の流れを確保するために、国土交通省が進める重点4分野の中で優先されている事業である。

表-3に交通安全施設の現況を（対前年比較）、表-4に交通安全施設の推移を示す。

《参 考》

- 1) 我が国の道路整備の現状、建設の機械化、2003年3月号、No.637、p.76

表-3 交通安全施設の現況（平成14年4月1日現在（ ）は平成13年4月1日現在）

（単位：km、箇所）

道路種別	道路実延長 (A)	歩道設置道 路実延長 (B)	歩道設置率 (%) (B)/(A)	中央帯設置 道路実延長	立体横断設置（箇所）			鉄道との交差箇所		
					計	横断歩道橋	地下横断 歩道橋	計	立体交差	平面交差
高速自動車国道 計	(6,851) 6,915	(0) 0	(0) 0	(5,598) 5,655	(24) 24	(14) 14	(10) 10	(371) 374	(371) 374	(0) 0
一 般 国 道 (指定区間)	(21,828) 21,897	(15,149) 15,197	(69) 69	(3,787) 3,925	(5,074) 5,117	(3,704) 3,718	(1,370) 1,399	(1,499) 1,511	(1,431) 1,444	(68) 67
一 般 国 道 (指定区間外)	(32,038) 31,969	(15,518) 15,759	(48) 49	(1,174) 1,162	(1,961) 1,969	(1,465) 1,460	(496) 509	(1,315) 1,325	(942) 955	(373) 370
主 要 地 方 道 (含む主要市道)	(57,574) 57,585	(22,934) 23,411	(40) 41	(2,082) 2,089	(2,998) 3,010	(2,517) 2,506	(481) 504	(3,176) 3,163	(1,793) 1,807	(1,383) 1,356
一般都道府県道	(70,835) 70,969	(19,346) 19,783	(27) 28	(1,135) 1,134	(1,515) 1,529	(1,274) 1,283	(241) 246	(4,017) 4,029	(1,679) 1,704	(2,338) 2,325
市 町 村 道	(982,521) 987,943	(72,702) 74,774	(7) 8	(2,011) 2,085	(2,713) 2,736	(2,216) 2,235	(497) 501	(46,699) 46,613	(18,523) 18,652	(28,176) 27,961
合 計	(1,171,647) 1,177,278	(145,649) 148,924	(12) 13	(15,787) 16,049	(14,285) 14,385	(11,190) 11,216	(3,095) 3,169	(57,077) 57,015	(24,739) 24,936	(32,338) 32,079

表-4 交通安全施設の推移

（単位：km、箇所）

年 次	道路実延長	歩道設置 道路実延長	中央帯設置 道路実延長	立体横断設置（箇所）			鉄道との交差箇所		
				計	横断歩道橋	地下横断 歩道橋	計	立体交差	平面交差
平成9年4月	1,152,206	131,807	14,041	13,643	10,815	2,828	56,696	23,907	32,789
平成10年4月	1,156,371	135,556	14,696	13,824	10,933	2,891	56,792	24,229	32,563
平成11年4月	1,161,894	139,015	14,843	14,041	11,060	2,981	56,851	24,492	32,359
平成12年4月	1,166,340	142,168	15,221	14,175	11,123	3,052	56,900	24,692	32,208
平成13年4月	1,171,647	145,649	15,787	14,285	11,190	3,095	57,077	24,739	32,338
平成14年4月	1,177,278	148,924	16,049	14,385	11,216	3,169	57,015	24,936	32,079

お知らせ：「建設工事受注額・建設機械受注額の推移（建設工事受注動態統計調査、2004年2月；建設機械受注実績、2004年2月）」は都合により今号は休載します。